

項目及び細目 (注1)		地域貢献活動の内容	実施時期 (注2)	目標値 (注3)	実績
地域貢献活動担当窓口の設置			2009/10/13		
地域貢献協議会の設置				2009/3/30	
1.環境・景観への配慮					
1	水保全対策・水循環確保の実施	・関係法令を遵守し、指導内容に則った雨水処理を実施	通年		
2	騒音対策の実施	・テーブルリフターを設置し、リフトのない車両に対し騒音の緩和に務める ・納入業者に対してアイドリング禁止を徹底 ・荷受口のシャッターはオーバースライダー型を採用し、騒音を防止 ・台車はゴムローラー使用として走行音の低減を図る	通年		
3	ヒートアイランド・地球温暖化等対策の実施	・駐車場内におけるアイドリングストップの呼びかけ（サインの設置）	通年		
4	廃棄物抑制対策の実施	・エコショッピングの推進（持ち帰りできる専用カゴによる買い物） ・生ゴミは水切りを徹底	通年		レジ袋辞退率73%

5	リサイクル対策等の推進	・店舗出入り口に資源回収ボックスを設置 ・専門業者に委託をし、魚腸骨の飼料、肥料への再利用を促進 ・廃油は専門業者に委託し、肥料や石鹼として再利用	通年		食品リサイクル率65% 牛乳パックリサイクル2,230kg ペットボトルリサイクル4,770kg 食品トレールリサイクル3,605kg
6	適切な廃棄物等の処理や環境美化対策の実施	・ゴミ箱の設置による来店客のポイ捨ての防止、分別回収の実施 ・廃棄物保管庫は屋内に設置し屋内搬入、回収後には清掃を実施	通年		
7	公害対策の実施	・周辺の住居などに悪影響を与えないよう敷地外周側より内部へ照射角度を向け、外部への直接照射が無いよう該当を設置	通年		
8	過剰照明の削減や空調温度の適切設定	・過剰な照明の削減を図り、定期的な清掃を実施 ・本部の指示による空調の適切な温度設定を行う	通年		
9	地域が進める景観・街並みづくりや緑化への協力	・敷地内において沿道緑化することにより、景観美化を考慮 ・景観条例や屋外広告物を遵守した地域の景観への配慮	通年		
2.地域づくりの取組					
1	地域コミュニティ（自治会、老人会等）への協力	・地域行事等の案内、ポスター等の掲示場所の提供	通年		
3.地域雇用の確保					
1	地域及び県内からの雇用の促進	・店舗スタッフにおいては地元ハローワーク、求人媒体を活用し、地元雇用を実施（契約社員・パート・アルバイトは地元雇用）	通年		契約社員・パート・アルバイト合計335名
2	安定的雇用の確保	・適正な売上予測を元に採用計画を立案、60歳定年制を導入し継続的な雇用を実施	随時		
3	障害のある人や高齢者の雇用の促進	・障害者雇用は法定雇用率を元に店ごとに雇用 ・パート社員の65歳定年制の導入、また定年後も7	通年	障害者雇用2.3%	障害者2名 65歳以上パート45名

		5歳まで継続雇用制度により雇用			
4	女性雇用の促進	・主婦層が勤務しやすい体制の構築 (日曜日2回休み、有給消化率の向上、研修制度等) ・店舗スタッフは8割以上が女性雇用	通年		
5	インターンシップへの協力	・小学校、中学校、高校及び特別支援学級など地元学校のインターンシップに対応	随時		9月 木瀬中学校 / 10月 前橋清陵高校 / 11月 伊勢崎清明高校・宮郷中学校 / 12月 伊勢崎高校・伊勢崎商業高校
6	従業員の職業キャリア形成への支援	・入社時受入研修、生鮮加工技術育成研修、通信教育制度、正社員登用制度などを社員区分に関わらず実施	随時		
4.子供、高齢者、障害のある人等への配慮					
1	店舗のユニバーサルデザインの導入	・障害者専用駐車場の設置 ・高齢者や身障者の方も利用しやすい多目的トイレの設置 ・店舗内外部への休憩用ベンチの設置	通年		
2	育児・介護への支援	・育児休暇制度、介護休暇制度の実施(休業規定有)	随時		
3	こどもたちの健全な育成への支援	・ベイシア21世紀財団での支援(No.7その他にて)			
5.安心・安全な地域づくりの推進					
1	防災訓練等への参加・協力	・防災訓練を2回実施	随時	2回	7月・12月
2	救急救命の取組の確保	・AEDを使った救命講習会に参加	随時	3名	
3	献血活動への協力	・駐車場を献血場所として提供	随時	2回	
4	実効性ある万引き防止等防犯対策の実施	・見通しを確保した商品陳列、防犯カメラの設置及び制服警備員による警備強化の実施 ・駐車場への適切な照明	通年		

		設備の設置			
5	営業時間内外の青少年非行防止対策の実施	・ 閉店後、駐車場の駐車可能時間外はバリカー等で施錠を行い管理	通年		
6	緊急通報体制の確立	・ 店舗での事件発生時における警察等への通報要領マニュアルの策定	通年		
7	交通安全対策及び交通渋滞対策の実施	・ 必要駐車場台数の確保 ・ 繁忙期において必要に応じ、交通整理員が敷地内の歩行者の安全確保に務める	通年		
8	車を運転しない方や歩行者への配慮	・ 駐輪場の設置 ・ 駐車場内に歩行者専用通路、「止まれ」マークを表示し、運転者への注意を促す	通年		
6.地域産業の活性化推進					
1	地域事業者との連携		随時		
2	地域及び県内の事業者・卸売業者との取引促進	・ 野菜、果物、牛肉、日配品、寝具等の県産品を県内事業者より仕入れて販売	通年		
3	地域及び県内の商業社のテナント入居促進	・ 県内のテナントの積極的な出店誘致を促進	随時		
4	県産品の積極的なPRと販売	・ 野菜、果物、牛肉、日配品、寝具等の県産品を幅広く扱い地産地消を推進	通年		
5	観光振興への協力	・ 店内で県内の観光旅行案内等のパンフレットを配布	随時		
7.その他（会社での取組）					
1	ベシシア21世紀財団の活動	・ 将来を担う子供たちへの教育環境や文化的な活動環境を財団の活動を通して支援（出店エリアで件が活動内容を認めた群馬県・長野県・埼玉県で1,656団体に助成金を贈呈）	平成15年～		合計33,178万円
2	献血の協力	・ 年1回ベシシアビジネスセンターにて献血活動の実施	年1回		23年8月・24年1月
3	ベシシア文化ホールへの支援	・ 地域貢献の一つとして群馬県民会館のネーミングライツを取得、またホールでのイベントへの協力を行う	通年		1,000万円/年

4	ザスパクサツ群馬を支援	・群馬県のサッカークラブチームのザスパクサツ群馬のオフィシャルユニフォームパートナーとして支援	通年		
5	リサイクル対策等の推進	・全店店頭で牛乳パック、ペットボトル、食品トレーのリサイクルボックスを設置し、資源リサイクルの実施 ・専門業者に委託をし、魚腸骨の肥料、資料への再利用を促進 ・廃油は専門業者に委託し、肥料や石鹸として再利用	通年		食品リサイクル率37% 牛乳パック 127,432kg ペットボトル 1,214,679kg 食品トレー 146,412kg
		・低酸素社会に向け、お客様が持ち帰りできる専用カゴを利用した「エコショッピング」を導入し、レジ袋の削減に取り組む	通年		エコショッピング・マイバッグ使用率80% レジ袋辞退率73%
6	エコキャップキャンペーンの実施	・群馬県川場村「ベシアの森」の整備、保全活動	通年		
7	募金活動	・地震などの災害発生時に緊急対応策として災害支援向けに募金活動を実施	随時		
8	災害支援協定の締結	・出店地域の行政と「災害時支援協定」を締結し地震、水害など災害活性時に救援物資の提供などの支援活動の実施	実施中		現在群馬県および5市町村、その他28市町村と災害支援協定を締結

注1 「担当窓口」及び「協議会」の設置以外の項目及び細目は、「ガイドライン第2章」及び「別表第1 地域貢献活動の事例一覧」の中から実施するものを記載してください。

なお、「別表第1 地域貢献活動の事例一覧」に記載のない項目を実施する場合は、「8 その他」として記載してください。

2 既に実施している取組は、実施中と記載してください。

3 目標値は、設定できるものについて可能な限り記載してください。

4 行が不足する場合は、適宜追加して記載してください。